

住まいの安全対策、いざという時に備えて

目的

いつ何時起こるか分からない地震。私たちの日常生活では思いもよらない場面に遭遇するかも知れません。災害時に備えて、現状を正しく理解し、災害時に起こりうる様々な状況をイメージし、「何をどう備えておいたらよいか？」などを地域みんなで考え学ぶ機会とします。

日時 平成29年2月28日(火) 午後2～4時
(受付：午後1時30分～)

会場 大庄地区会館 2階 ホール(尼崎市菜切山町16-1)

実施内容

- ・講話「まちと住まいの安全対策について」(60分程度)

【講師】野崎隆一(のざきりゅういち) NPO法人神戸まちづくり研究所理事長



1967年神戸大学建築学科卒業。東急不動産などを経て、1996年より(株)遊空間工房代表取締役。2015年よりNPO法人神戸まちづくり研究所理事長。阪神・淡路大震災では、被災マンションなど住まいの復興を数多く手がけ、震災後の神戸、尼崎、但馬などで地域のまちづくりを支援。2011年の東日本大震災以降は、気仙沼市を中心に防災集団移転や区画整理事業の地域で復興まちづくりを支援。現在は、熊本地震の被災地でも支援を継続。兵庫県住宅審議会委員、県民生活審議会委員。神戸市地域活動推進委員会委員。2005年兵庫県復興功労賞、2013年兵庫県社会賞、2016年内閣府防災担当大臣表彰。

- ・講話「熊本地震の被災地から学ぶ教訓」(30分程度)

【講師】尼崎市災害対策課職員

- ・質疑(30分程度)

定員 150名(申込不要。直接会場へお越しください)

主催：尼崎市社会福祉協議会大庄支部・市民運動大庄地区推進協議会

問合せ先：大庄地域振興センター 電話：6419-8221